



学校教育目標

3つのKを達成しよう

- 活躍しよう
- 基礎・基本をしっかり身に付けよう
- 健康な心と体を育てよう

入学・進級おめでとうございます

満開の桜が鮮やかに 本格的な春の到来を伝えます。このよき日に、多くの保護者の皆様方に見守られながら、令和6年度柳瀬中学校入学式を挙行できますことに感謝申し上げます。

本日入学された134名のみなさんは、柳瀬中学校の1年生として、中学校生活の第一歩を踏み出しました。今後この柳瀬中学校で活躍されることを教職員一同期待しています。

新入生の皆さんに、中学校生活の中でつけてほしいのは、「社会の中で自立して生きていける力」です。

自立とはどういう意味か少し考えてみましょう。辞書で自立の意味を調べると「他の助けや支配なしに自分の力で物事を行うこと。独立」とあります。

生まれたばかりの赤ちゃんは誰かの助けがなければ生きていきません。お腹がすいても、おむつが汚れても、泣くことしかできません。そうした状況から、立てるようになったり、話せるようになったり、だんだんといろいろな事ができるようになって、最終的に自分の力で生きていけるようになります。このように自分の力でやることが自立することと定義されています。

それに対して、龍谷大学の中村尚司教授は「自立とは、依存する相手が増えること」といっています。助けてもらえる相手を増やすことが自立だということです。

ということなのでしょう。

人は一人では生きていきません。皆さんも普段から、困っている人を助けたり、一人で難しいことは仲間に助けってもらったり、協力しながら生活していると思います。とすると、自立とは他の人に頼らないことではなく、親にしか頼れない赤ちゃんの状態から、自分が困っていることを周りの人に伝え、友達や先生、職場の人と親以外の人とも頼れる関係を築いていけるようになることではないのか。つまり、頼める相手を増やせることが自立することだということです。

そのためには、「苦しいときに助けを求める力」が大切になります。皆さんは、困っている人がいれば助けましょうと教わり、実際、困っている人には当たり前のように「どうしたの」と声をかけたり、手伝ったりしていることでしょう。しかし、困っている人がいても、困っていると解らなければなかなか手助けもできません。だから、困った時に周りの人に自分の状況や助けて欲しいことを上手に伝えて「助けてもらう」ことが大切になるのです。

柳瀬中学校には、優しい上級生も頼りになる先生もいます。そうした人達と生活しながら、社会の中で自立するための力を一緒に学んでいきましょう。

2、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。それぞれ学年が一つずつ上がって、新しい学年、新しい教室、新しい友達と、新しいものばかりで、夢や期待も大きく膨らんでいることと思います。ぜひ今の気持ちを忘れずに、今年1年を充実した1年としていきましょう。

(入学式式辞より抜粋)

生徒数及び学級数 (4月8日現在)

	1年生	2年生	3年生	6組	合計
男子	65	55	75	9	204
女子	62	56	67	6	191
合計	127	111	142	15	395
学級数	4	3	4	2	13